

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了要件

- 修士論文による修了

課程修了には、2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) 履修上の指示

- 政治学特殊演習1・2の履修について

本科目は、修士論文の研究指導演習と論文構想発表会を包含するものとして設定されています。修士課程在学者は全員、毎年、履修登録してください。1年次、2年次ともに両科目を履修してください。

論文構想発表会は、春学期は7月初旬、秋学期は12月初旬、に開催されます。

- 研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の履修について

留学生（外国人入試で入学した外国出身の学生）のみに受講を認める日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」を開講します。受講希望者は「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください（213ページ）。

研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の単位を修得した場合、最大で4単位まで修了要件に含むことができます。

- 他専攻科目の履修について

他専攻が設置する科目を履修した場合、10単位を上限として、これを修了所要単位に含めることができます。なお、2016年度より国際政治学専攻が開設する「グローバル政治経済特別セミナー」の履修も可能となりました。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに履修して単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

【他専攻】：他専攻の学生が履修可能な科目。

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
政治学特殊演習1	山口二郎	2	○			修士1・2年次に必ず履修
政治学特殊演習2	山口二郎	2	○			修士1・2年次に必ず履修
政治理論研究1	杉田敦	2	○		○	学部「外国書講読（英語）Ⅰ」と合同、国際政治学専攻、公共政策学「政治理論」と合同
政治理論研究2	杉田敦	2	○		○	学部「外国書講読（英語）Ⅱ」と合同、国際政治学専攻と合同
行政学研究1	林嶺那	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学・連帯社会「行政学基礎」と合同
行政学研究2	林嶺那	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学・連帯社会「行政学事例研究の方法」と合同
政治史研究1	細井保	2	○		○	学部「外国書講読（独語）Ⅰ」と合同
政治史研究2	細井保	2	○		○	学部「外国書講読（独語）Ⅱ」と合同

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
日本政治史研究 1	明田川 融	2	○		○	公共政策学「日本政治史研究」と合同
日本政治史研究 2	明田川 融	2	○		○	
公共哲学研究 1	西村 清 貴	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学「公共哲学基礎」と合同
公共哲学研究 2	宮川 裕 二	2	○		○	公共政策学「公共哲学研究」と合同
コミュニティ論研究 1	淵元 初 姫	2	○		○	公共政策学「市民社会とコミュニティ」と合同
コミュニティ論研究 2	西谷内 博 美	2	○		○	公共政策学「コミュニティ制度論」と合同
公共政策研究 1	淵元 初 姫	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学・連帯社会「政策学基礎」と合同
公共政策研究 2	淵元 初 姫	2	○		○	公共政策学「政策学研究」と合同
政治過程研究 1	山口 二 郎	2	○		○	連帯社会「政治学概論」と合同
政治過程研究 2	山口 二 郎	2	○		○	
行政理論研究 1	南島 和 久	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学「政策評価論」と合同
政策学研究 1	土山 希美枝	2	○		○	公共政策学「政策過程研究」と合同
政策学研究 2	鄭 智 允	2	○		○	公共政策学「政策過程事例研究」と合同
比較政治論 1	新川 敏 光	2	○		○	
比較政治論 2	新川 敏 光	2	○		○	
連帯社会とサードセクター	中村 圭介・柏木 宏 ・伊丹 謙太郎	4	○		○	連帯社会と合同
立法学研究 1	神崎 一 郎	2	○		○	公共政策学・サステナビリティ学「立法学研究」と合同
自治体研究 1	土山 希美枝	2	○		○	公共政策学「地方自治論」と合同
公務員制度研究	森谷 明 浩	2	○		○	公共政策学と合同
雇用・労働政策研究	濱口 桂一郎	2	○		○	公共政策学・連帯社会「雇用労働政策研究」と合同
政策法務論	神崎 一 郎	2	○		○	公共政策学、サステナビリティ学と合同
防災危機管理研究	鍵屋 一	2	○		○	公共政策学と合同
ジェンダー政治研究 2	中野 洋 恵	2	○		○	公共政策学「ジェンダー政策研究」と合同
自治体福祉政策論	鏡 諭	2	○		○	公共政策学と合同
自治体議会論	鍵屋 一	2	○		○	公共政策学と合同
NPO論 1	柏木 宏	2	○		○	公共政策学「NPO論」、連帯社会「NPO論（現状と課題）Ⅰ」と合同
NPO論 2	柏木 宏	2	○		○	公共政策学「市民社会ガバナンス論」、連帯社会「NPO論（現状と課題）Ⅱ」と合同
シンクタンク論	蒔田 純	2	○		○	公共政策学、連帯社会と合同
国際政治の基礎理論 1	湯浅 武	2	○		○	学部「国際政治学入門」、国際政治学「国際政治理論」、公共政策学・サステナビリティ学「国際政治学基礎」と合同
国際開発政策研究 1	武 貞 稔 彦	2	○		○	国際政治学「国際協力政策研究 1」、公共政策学・サステナビリティ学「国際協力論」と合同

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
国際地域研究 1	熊 倉 潤	2	○		○	国際政治学「国際地域研究(中国)(1)」と合同
国際地域研究 2	熊 倉 潤	2	○		○	国際政治学「国際地域研究(中国)(2)」と合同
国連・平和構築研究 1	弓 削 昭 子	2	○		○	国際政治学「国際政治学「国連・平和構築研究 1 (国連組織)」、サステイナビリティ学「国際機構論」と合同
国際行政研究 2	坂 根 徹	2	○		○	国際政治学「国際公共政策研究 2」と合同

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2022 年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

政治学研究科では、2019年度より、博士後期課程においてコースワーク制および授業科目の単位制を導入しました。これに伴い、2019年度以降入学者と2018年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2019年度以降入学者】

(1) 修了所要単位

履修区分	修了所要単位
論文指導科目	12 単位以上修得
選択必修科目	4 単位以上修得
博士論文	
合計	16 単位以上修得

※課程修了には、単位の修得のほか博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

履修区分	科目名	単位	履修上の指示	修了所要単位	
論文指導科目	博士論文演習ⅠA	2	原則 1年次に履修	12 単位以上（修了所要 単位に含めることができ るのは 12 単位まで）	計 16 単位以上
	博士論文演習ⅠB	2			
	博士論文演習ⅡA	2	原則 2年次に履修		
	博士論文演習ⅡB	2			
	博士論文演習ⅢA	2	原則 3年次に履修		
	博士論文演習ⅢB	2			
選択必修科目	政治学特別講義1	2	原則 1年次に履修	4 単位以上	
	政治学特別講義2	2			
	国際政治特別講義1	2			
	国際政治特別講義2	2			

(3) 論文指導科目の履修について

指導教員が開講する博士論文演習を履修してください。12 単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めることができません。標準修業年限（3 年）を超えて在学する方は、3 年次用の科目（博士論文演習Ⅲ A・Ⅲ B）を重複して履修してください。

(4) 選択必修科目の履修について

選択必修科目は修士課程の科目と合同で開講し、原則として指導教員が開講する科目を受講します。詳細は Web シラバス及び時間割にてご確認ください。ただし、修士課程とは評価基準が異なりますのでご注意ください。1 年次に指導教員の担当する選択必修科目を履修してください。

(5) 修士課程設置科目の履修について

博士後期課程選択必修科目と合同科目となっていない修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

(6) 論文構想発表会について

論文構想発表会における発表は、博士論文を完成させるための重要な準備の一つとして位置づけられています。また、論文構想発表会で二度発表することが、博士後期課程の学位授与の要件となります。開催時期は、春学期に1回、秋学期に1回の年2回を予定しています。

【2018年度以前入学者】

(1) 修了要件

2019年度以降も修了要件に変更はありません。博士後期課程の修了には、3年以上在学し、指導教員の指導によりそれぞれの専攻に示された博士後期課程の授業科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) 論文指導科目の履修について

2018年度まで開講していた授業科目は、2019年度以降は開講しません。以下の表に従って履修してください。なお、2019年度より単位制を導入しますが、2018年度以前入学者については、単位数による修了要件の計算はいたしません。

例えば、1年次に「政治過程特殊研究」を修得済みの方は、2年次に指導教員の「博士論文演習Ⅱ A・Ⅱ B」、3年次に「博士論文演習Ⅲ A・Ⅲ B」を修得することによって、修了要件を満たします。但し、標準修業年限（3年）を超えて在学する学生は年度ごとに3年次用の科目「博士論文演習Ⅲ A・Ⅲ B」を履修する必要があります。

学年	履修期	科目名
1年次	春学期	博士論文演習Ⅰ A
	秋学期	博士論文演習Ⅰ B
2年次	春学期	博士論文演習Ⅱ A
	秋学期	博士論文演習Ⅱ B
3年次	春学期	博士論文演習Ⅲ A
	秋学期	博士論文演習Ⅲ B

(3) 選択必修科目の履修について

2019年度以降入学者用カリキュラムにおける「選択必修科目」については、修了要件に関わらず、2018年度以前入学者も履修することができます。

(4) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

(5) 論文構想発表会

論文構想発表会における発表は、博士論文を完成させるための重要な準備の一つとして位置づけられています。また、論文構想発表会で二度発表することが、博士後期課程の学位授与の要件となります。開催時期は、春学期に1回、秋学期に1回の年2回を予定しています。

2. 授業科目担当者一覧

科目分類	授 業 科 目	担当教員名	単位	備 考
論文指導科目	博士論文演習ⅠA	専 任 教 員	2	
	博士論文演習ⅠB	専 任 教 員	2	
	博士論文演習ⅡA	専 任 教 員	2	
	博士論文演習ⅡB	専 任 教 員	2	
	博士論文演習ⅢA	専 任 教 員	2	
	博士論文演習ⅢB	専 任 教 員	2	
選択必修科目	政治学特別講義1	専 任 教 員	2	
	政治学特別講義2	専 任 教 員	2	
	国際政治特別講義1	専 任 教 員	2	
	国際政治特別講義2	専 任 教 員	2	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2022年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>